

未来を見据えながら、  
災害に強く、  
わかりやすく、  
使いやすい。  
区民の暮らしと  
安全を守る庁舎を、  
築きました。



# 板橋区役所 本庁舎 南館改築・北館改修

平成27年4月  
グランド  
オープン!



**北** 館と南館の2棟からなる板橋区役所本庁舎。昭和62(1987)年竣工の北館に対し、昭和37(1962)年竣工の南館は、耐震性や老朽化などの問題を抱えていました。また、この半世紀で社会を取りまく環境も大きく変化し、待合スペースの不足や駐車場の渋滞が慢性的に発生。スムーズで効率的な行政サービスの妨げになっていました。

そこで平成20(2008)年、区民が最も利用する窓口サービスの「わかりやすさ」、災害時に頼れる「安心・安全」をテーマに掲げ、南館の改築事業に着手。リーマン・ショックや東日本大震災を経て、昨年、平成26(2014)年10月、改築工事がついに完了しました。続けて北館の改修や外構・環境整備を行い、今年、平成27(2015)年3月に全工事を完了。4月のグランドオープンを迎えました。

フロアマップ	
傍聴席	13
本会議場	12 (平成27年4月グランドオープン時)
委員会室	11
区議会事務局 議員控室	10
大会議室A・B	9
営繕課 教育営繕担当課 地域振興課 文化・国際交流課 スポーツ振興課 福祉部管理課	8
清掃リサイクル課 環境戦略担当課 環境課 庁舎管理・契約課 選挙管理委員会事務局 監査委員事務局	7 屋上庭園
(教育委員会事務局) 教育総務課 新しい学校づくり課 学校配置調整担当課 学務課 生涯学習課 学校地域連携担当課 指導室 教育委員会室	6 教育支援センター
市街地整備課 拠点整備課 高島平地域まちづくり担当課 住宅政策課 都市計画課 建築指導課	5 計画課 みどりと公園課 交通安全課 工事課 土木部管理課
財政課 経営改革推進課 政策企画課 広聴広報課 いたばし魅力発信担当課 総務課 区長室	4 人事課 資産活用課 土地開発公社 地域防災支援課 防災危機管理課 防災センター
納税課 課税課 会計管理室	3 健康推進課 子ども政策課 子育て戦略・待機児担当課 保育サービス課 障がい者福祉課
板橋福祉事務所(障がい者支援係) 障がい者福祉課(福祉係) 後期高齢医療制度課 介護保険課 おとしより保健福祉センター(板橋 高齢者相談係) 長寿社会推進課	2 国保年金課 人材育成センター
子ども政策課(子どもの手当医療係) 区政情報課・区政資料室 ギャラリーモール 証明書自動交付機 警備室(夜間受付)	1 戸籍住民課 レストラン・売店
地下鉄連絡口	B1 駐車場

北館

南館

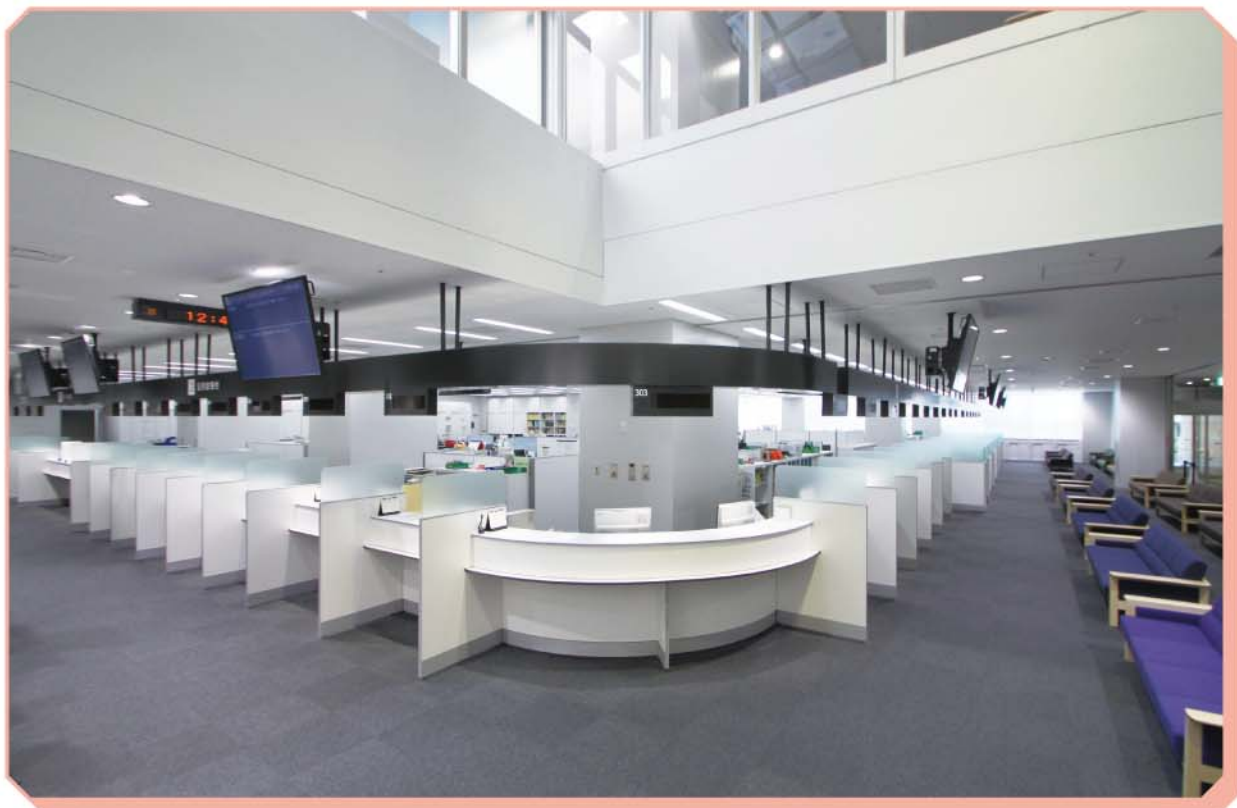


### 板橋区役所本庁舎

- 所在地：東京都板橋区板橋二丁目66番1号
- 建築面積：4715.35㎡
- 延べ面積：41328.74㎡
- 構造/南館部分：鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造、地下1階柱頭免震構造  
北館部分：鉄骨鉄筋コンクリート造
- 階数/南館部分：地上7階、地下1階  
北館部分：地上14階、地下3階
- 設計・監理：(株)山下設計
- 施工：[建築] 前田・ノエマ・勇建設共同企業体/[電気設備] 九電工・新分・川見建設共同企業体/[空調設備] 新菱・倉・池松建設共同企業体/[給排水衛生設備] 装芸・日立建設共同企業体/[昇降機設備] 日本オーチスエレベータ(株)/[外構・植栽工事] 新田・足立建設共同企業体、(株)SEKI

### 【工事の流れ】

- 平成24年11月 南館改築工事スタート
- 平成26年4月 外構・環境整備工事スタート
- 10月 南館改築工事完了
- 11月 北館改修工事スタート
- 平成27年3月末 全工事完了
- 4月 グランドオープン



南館1階・吹き抜けのある開放的なロビー。

1

## スムーズで わかりやすい窓口

1階入口を入ると、目の前には窓口カウンターと待合スペースが広がっています。北館と南館の1階を一体化し、ワンフロアの大きな空間を実現しました。また、都内初となる最新鋭の受付案内システムを導入し、待ち時間が短く、迷わずわかりやすい窓口サービスを提供します。併せて混雑状況や手続状況のインターネット公開もスタートしました。

改築した南館は1～6階にだれでもトイレを配置したほか、全てのエレベーターを車いすやストレッチャー対応とし、高齢者や障がい者、お子様連れの方など、だれもが使いやすい庁舎をめざしました。

南館3階と北館1階には、おむつ替えや授乳ができるスペース「赤ちゃんの駅」(左)に加え、待合スペース内に「キッズスペース」(右)を設置。



車いす利用者やオストメイト、お子様連れなどさまざまな利用者を想定した「だれでもトイレ」。





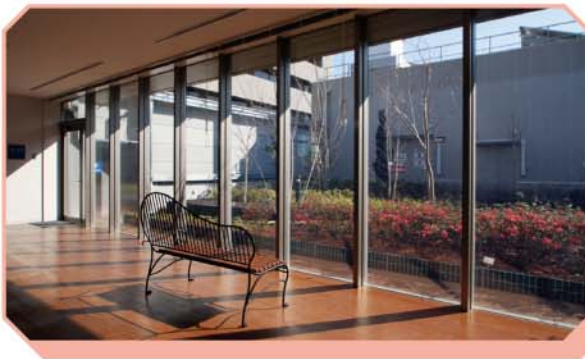
## 2 区民が集う にぎわいのある交流スペース

新しい庁舎を印象づけるのが、南館西口に配置されたレストランです。木立に囲われたウッドデッキのテラス席もあり、土日や夜でも利用できるの、区民の集いや待ち合わせなどに便利な駅近のカフェレストランです。また南館2階待合スペースに面して中庭を設けたほか、7階の屋上庭園は緑に親しめるエリアとなっています。

改修した北館1階には情報発信拠点「ギャラリーモール」を新設。板橋区在住の工業デザイナー・水戸岡鋭治氏が手がけた空間の中で、板橋の魅力を見て・触れて・感じていただけます。



南館1階・レストラン。売店も併設している。



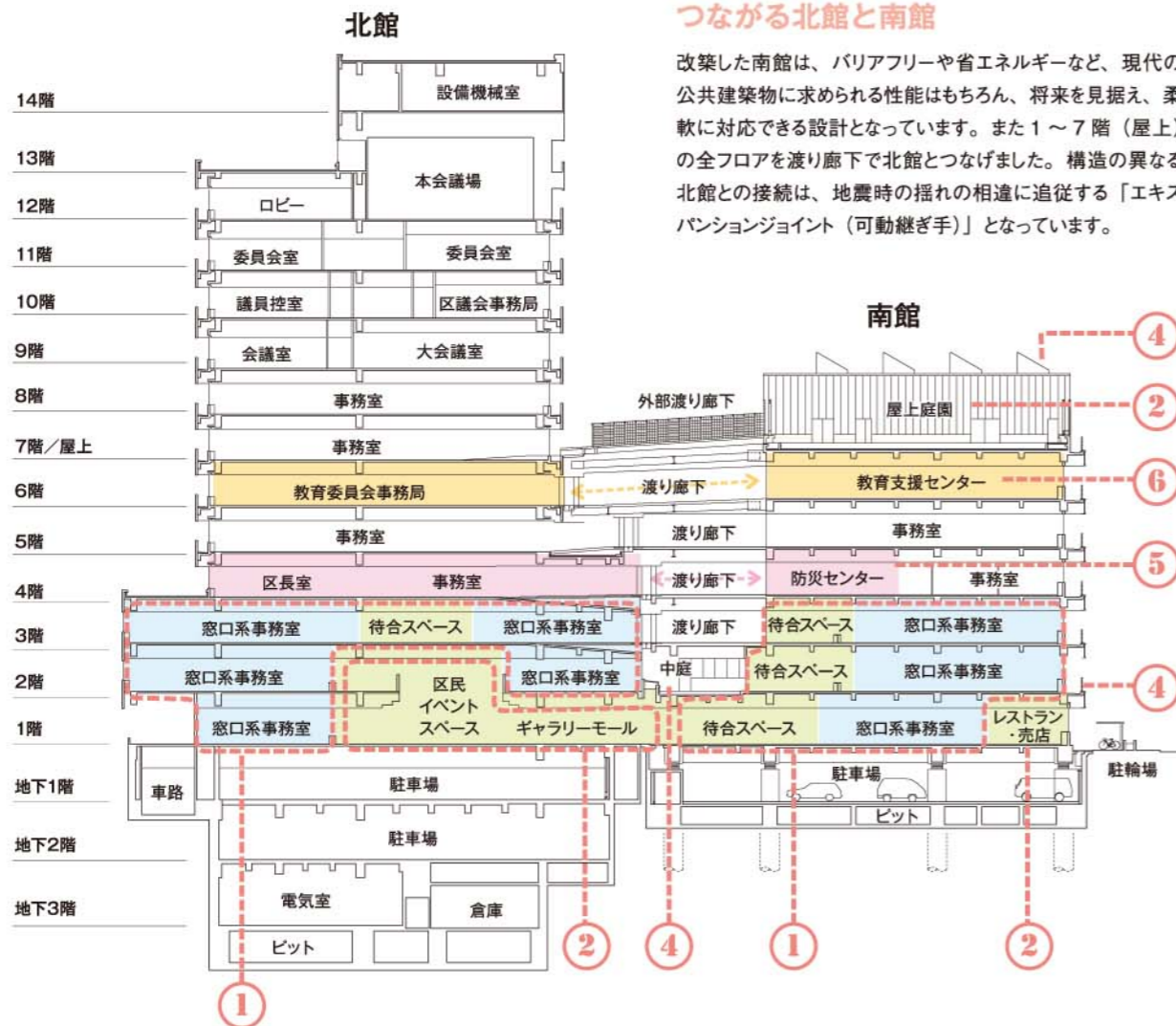
南館7階・自然を感じながら休憩したり、散策を楽しむことができる屋上庭園。



北館1階・ギャラリーモール。JR九州の「ななつ星 in 九州」などのデザインで知られる水戸岡鋭治氏による、「布」を使った展示空間。

## 南館・北館フロア構成図

scale=1/600



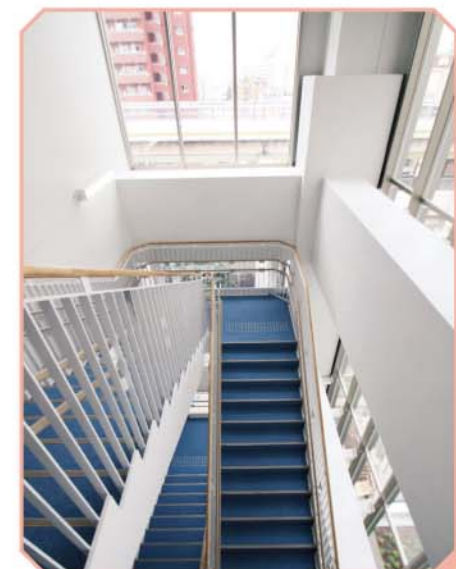
### つながる北館と南館

改築した南館は、バリアフリーや省エネルギーなど、現代の公共建築物に求められる性能はもちろん、将来を見据え、柔軟に対応できる設計となっています。また1～7階（屋上）の全フロアを渡り廊下で北館とつなげました。構造の異なる北館との接続は、地震時の揺れの相違に追従する「エキスパンションジョイント（可動継ぎ手）」となっています。

## 4 自然エネルギーを取り込む地球にやさしい建物

限りある資源を大切に——環境負荷の低減は公共建築物の命題です。北館と南館は2階バルコニーを囲んだ配置。この中庭が各階に自然光を届けます。さらにLED照明器具や人感・昼光センサーを導入して消費電力を抑制。また、改築した南館では高性能断熱材やペアガラスを採用、地下に地熱を利用したクールピットを設け、空調負荷の低減を図るほか、BEMS（ビル・エネルギー・マネジメント・システム）による最適な設備運転を行います。

発電能力75kWに及ぶ太陽光パネルは南館屋上のほか南側壁面にも設置しました。ヒートアイランド対策として積極的な緑化も行っています。



「風の塔」となってスムーズな換気を促す南館・西側階段室。



2階・自然が感じられる中庭。



南館の外壁および屋上に取り付けられた太陽光パネル。各階で発電状況を表示。

## 3 使いやすく、動きやすいユニバーサルデザイン空間

今回の工事で北館と南館は一体的な建物へと生まれ変わりました。そこで全館のサイン計画も一新。また北館地下1階の地下鉄連絡口にスロープを新設し、庁舎全体のバリアフリー化を推進しました。

一般の事務スペースは人間工学やファシリティマネジメントに基づき、職員が働きやすい環境をつくりました。将来のレイアウト変更にも対応しやすく、業務効率の向上を図ることで区民サービスの充実につなげていきます。



レイアウトの標準化やユニバーサルプランの導入により、効率的な執務空間を実現。



ダークグレー系の北館サイン（左）とブルー系の南館サイン（右）。色彩や字体は「板橋区バリアフリー推進協議会」と協議を重ね、わかりやすく目的地へ誘導できるものを採用。

## 5 いざという時も迅速に対応できる たのもしい庁舎



南館4階・防災センター(左・災害対策本部室、上・情報システム室)。防災対策支援システムを新たに導入し、GIS(地理情報システム)を活用して、災害発生時の応急対策を迅速に決定。防災・緊急情報メールやツイッターなどにより広くタイムリーに情報を提供。

災害発生時、本庁舎が防災拠点になります。震度7の地震を想定した免震構造を採用した南館の4階には、災害対策本部室などからなる最先端の防災センターを配置しました。また1階には災害時に無制限で利用できる公衆無線LANを導入。受水槽を設置して上水を確保するとともに緊急汚水槽も設置しました。停電に備えた非常用発電設備(3日間分)はゲリラ豪雨によって冠水しないよう7階に設置するなど、万全の態勢で区民の安全を守ります。



南館地下1階・柱上部に設置された免震装置。

## 6 未来を担う 子どもたちのための 教育支援センター



南館6階・教員が自由に研究・研修できるメディアセンター(上)と、安心して話せる相談スペース(右)。

南館6階には全面的に教育支援センターを配置しました。教員の指導力向上を図るため、授業改善を目的とする「研究」「研修」機能、児童・生徒・保護者などからの教育に関する「相談」機能を充実させた施設です。さらに渡り廊下を挟んだ北館6階に教育委員会事務局を配置。教育現場と密接な連携のもと、子どもの豊かな学びと育ちを全力でサポートします。

